

# 楽踊楽座 全国行脚 記録

行脚 No.79

日時	2014年2月5日
行脚先	牛堂山国分寺
住所	兵庫県姫路市御国野町(播磨国)
行事名	

## 特徴

弘法大師古義真言宗の寺院で、推古帝の朝・聖徳太子の伽藍建立があります。  
奈良時代、天平13年(741年)に聖武天皇が疫病災害から守って平和な国造りを念願され、国分寺が創建されました。  
寺域は略々方二町あり壮麗な規模であったと思われませんが、平安中期末に焼失し、さらに天正年間(1573年～1592年)に豊臣軍と別所軍の争いの戦火により、焼失しました。  
現在牛堂山国分寺の本堂等は寛永16年(1639年)、姫路城主・松平忠明により再建されました。  
「牛は聖武天皇の使者であり、温順にして人類に貢献し、野草を食するも病にかからず、体力創建で、平和の守り神である」と伝えられています。  
現在、播磨国分寺跡は国史跡に指定されております。

## 黒田官兵衛との関わり

「播陽里翁説」によると、天正6年(1578年)4月、阿閉城の戦いの際、毛利の大軍が上月城を囲んだため豊臣秀吉軍は直ちに救援に赴きました。  
その隙に乗じて別所勢が東から姫路城を陥れようとしたため、黒田官兵衛は急遽姫路に引き返し、国分寺に拠って撃退しようしました。  
秀吉の大軍が来ると思った別所軍は牛堂山国分寺に火を放ち、堂、僧坊は消失したと伝えられています。  
現在、牛堂山国分寺の本堂等は寛永16年(1639年)、姫路城主松平忠明により再建されました。

## 記録

